

J R 東海 労 幹 関 西 地 「 申 」 第 29 号
2 0 1 4 年 1 月 1 0 日

東海旅客鉄道株式会社
新幹線鉄道事業本部関西支社
支社長 河原崎 宏之 殿

J R 東海 労働組合新幹線関西地方本部
執行委員長 小林 國博

大阪仕業検査車両所における「担務外し」に関する申し入れ

12月11日、大阪仕業検査車両所で平野助役は作業開始直前のA社員に対し仕業検査時1・16号車の運転台業務の担務のみをすべて外すという作業指示を行った。

A社員は「なぜ、担務を外すのか？」と平野助役に質問したが、それに対し平野助役は「知らない」としか答えなかった。A社員はこの作業指示が気になって仕方がなかったため、休憩時間に沖本科長に理由を聞きに行くと、沖本科長は「ヒューマンエラーがあった。明日、聞き取りをする」としか答えなかった。さらには「今、伝えたら仕事が手に付かないでしょう」とまで言い放っている。

沖本科長に対しA社員は「理由が分からない方が朝まで悶々として仕事をしなくてはならない」と抗議しているが、沖本科長は「明日の朝まで理由は言いません」と繰り返すばかりであった。

担務外しの具体的理由も伝えず一部の担務を外す事は今までになく、今回の会社対応はA社員に必要な余計な精神的不安を与えたのみであり、業務に集中出来なくなる異常な作業指示である。この会社対応が「ヒューマンエラー」を誘発する要因であり、安全安定輸送に反するものとする。

よって、以下のとおり申し入れるので、労使協議の場を設定すること。

記

1. 具体的理由も伝えず一部の担務を外し、新たな「ヒューマンエラー」を誘発させかねない要因を作った平野助役と沖本科長は社員へ謝罪をする事。
2. 仕業検査で働く全社員へ、今回の事態について詳細に説明をすること。
3. なぜ、社員が理由を聞いたときに答えなかったか明らかにすること。
4. 今まで理由も伝えず担務を外したことはなかった。今回なぜ運転台業務のみを外す作業指示をしたのか明らかにすること。
5. なぜ、作業直前に担務を外す作業指示したのか明らかにすること。

6. 今回の会社の対応は社員に余計な不安を与え、業務に集中出来なくなり「ヒューマンエラー」を誘発する要因になるとは思わなかったのか明らかにすること。
7. ATCチャート惰行中のハツ・カツウ印字の見落とし（連絡をしなかった）が理由で担無を外したと聞くが、これまで社員・組合員らが会社に対してATCチャートに関する勉強会等を開催せよと何度も要求してきたにも関わらず、会社が勉強会等を行わなかった理由を明らかにすること。

以上